

2022.05.27



韓信の一飯千金 (史記の中の千金②)

5月②のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2022年5月11日(水)

淮陰侯韓信は、淮陰の人である。

暮らしを立てることもできず、南昌の亭長(部落長)の好意にすがっていたが、亭長の妻はうるさがり、朝食も与えなかったので、腹を立てて出て行った。

韓信が淮陰の城壁の下で釣りをしていると、綿打ちをしていた婆さんが、数十日間彼に飯を食わしてやった。韓信は「きっと、お婆さんにお礼をするからな」と言ったが、婆さんは「お礼なんてあてにしないよ」と言った。

淮陰の屠殺業をしている若者が韓信をからかった。

「大きな図体で、剣をぶら下げているが、本当は、臆病者だろう」。

大勢の中で恥をかかせて、「おい、お前、俺の股の下をくぐれ」とすごんだ。すると韓信は彼をしげしげと見つめた後、頭を下げ、彼の股の下をくぐって這い出た。盛り場の人が笑いはやし、皆、韓信は臆病者だと思った。

韓信は、楚の「項羽」の配下となり、度々策略を進言したが、項羽は取り上げなかった。韓信はその後、「漢の高祖」に帰属した。

高祖からも認められなかったが、高祖第一の臣「蕭何」と度々語り合い、蕭何は韓信を高く評価して、高祖に言った。

「韓信のような人物は国家的な人材で二人とおりません。「**国士無双**」と言うべきです。いつまでも漢中の王で満足するなら、韓信は必要ないでしょうが、**天下を争う決意**ならば、韓信を用いるべきです。」

高祖は韓信を將軍の中の「**大将に任命**」し、任命式も行った。

後日、高祖は固陵で苦戦に陥った時、**張良の計略**を用い、韓信を召し寄せた。

韓信の兵は「**垓下の戦い**」に加わり、**項羽を下し、高祖は天下を取った。**

対楚戦争中、韓信の軍は、楚についていた20数万の趙軍を破った。この時韓信は、「**死地から生還する戦術**」を取り、味方の軍を、河を背にして布陣して大勝した。將軍たちが、戦勝の祝いを述べに来て、韓信に質問した。

「兵法には、「**山や丘を右と背にし、川や沼沢を前と左にせよ**」とあります。なのに、この度の戦いで、大将は私たちに命じて、あべこべに河を背にした陣がまえをさせました。ところがなんとそれでこんなにも大勝しました。これは**どういう戦術**でしょうか？」

韓信は笑いながら、「**兵法には死地に陥れられて初めて生き、亡地に置かれて初めて存する**」というのではないか。

だから死地において生きるために、**背水の陣**を敷き兵士たち各自に危機感を自覚させたのだ。

漢の五年(前 202 年)正月、韓信は楚王として故郷に帰った。

韓信は領国に着くと、昔食事をくれた綿打ちの老婆を召し出し、千金を授けた。さらに南昌の亭長夫婦を召し出し、百錢を授けて言った。

「心の小さい人たちだ。人に目をかけたのに、しまいまで面倒を見てやることはなかった」。

また、自分に恥をかかせて、股をくぐらせた男を召し出して、楚の中尉にとりたててやり、将軍や大臣たちに向かって言った。「これは立派な男だよ。わしに恥をかかせおった。あの時、こいつを殺せなかった。殺しても名があがるものではない。だから我慢してこれまでに成ったのだ。」

参照：史記(淮陰侯列伝)、司馬遷史記(徳間書店)

5月② 2022.5.11

韩信的“饭于金”

淮阴侯韩信是淮阴人。

年轻时他没有工作，在南昌亭长家里生活，但是亭长的妻子嫌恶他，早饭也不给他，他生气地亭长家离开了。

韩信在淮阴城下钓鱼，钓了可以卖几个钱不饿肚子。

有一位弹棉花的老婆，连续数十天拿饭给他吃。

韩信对她说，“谢谢你，将来我一定报答你”。

老婆是回答说，“我同情你给一些饭，没有期待你的报答”。

> 有一位淮阴人从事屠宰业的年轻人，侮辱韩信，“别看你长得高大带刀剑，其实是个胆小鬼罢了。你从我胯下爬过去！”

韩信认真地样子看他的脸，低下身去，卧在地上，

从他的胯下爬过去了。

周围的人都笑了，认为韩信是胆小鬼。

> 韩信成为了项羽的部下，常常向项羽进言，但项羽没有采用韩信的提议。

于是，韩信投入汉高祖麾下，但是高祖也没有采用他的意见。

但是，韩信曾经与高祖的大臣“萧何”交谈。

萧何认为韩信是一位奇才。

萧何对高祖说，“韩信这样的人物很稀有，他是国家的人才，

可以说是「国士无双」，

你如果守汉王的地位，就不需要韩信这样的人物，

但是，你决心得倒天下，那就应该任用韩信”。

于是高祖任命韩信为“大将军”，举行任命仪式。

后来，高祖和项羽“国陵”陷入大苦战。

用张良的计策，召集韩信来攻打项羽。

后来，韩信又率兵参加了“垓下之战”，

“项羽战败，高祖取得天下。”

在对楚战争等中，韩信攻击依赖于楚的20万赵军。

那时韩信采用“从死地生还的战术——背水之阵”，

“置之死地而后生”的战术，背水一战而大胜。

战后，将军们庆祝胜利，然后问韩信，

“兵法说，要山岳在右后方，河川在前方，

但是这次的作战，您命令我们背水布阵，

军反而大胜。这是什么战术？”

韩信笑了笑回答说，“兵法有在险地置之，而后生。所以置兵士于死地，他们为了生存就会死战争取一线生机。”

汉五年（前202）正月，韩信封楚王，建都下邳。他到了下邳，召见曾经给他做饭吃的那位老婆婆，赐给她黄金千两。

轮到南昌亭长，赐给百金，说：“你是小儿，做好事有始无终。”

召见曾经侮辱过自己，让他从他胯下爬过去的年轻人，任用他做了中尉，并告诉将相们说：“这是位壮士。当被侮辱我的时候，我难道不能杀死他吗？

杀掉他没有意义，所以我忍住了一时的侮辱而成就了今天的功业。”